

# 伝助(送助) for Windows Ver.5.1



## スマートフォーム(.NET 形式)

株式会社ヘキサード

### 1. 概要

SmartForm.NET は、株式会社ヘキサードが開発した .NET クラスライブラリです。対象製品（伝助／送助）と連携し、外部アプリケーションから渡された CSV または固定長形式のデータを内部データベースに変換し、設計済みの伝票や帳票などの印刷書式（以下、フォーム）をプリンタまたはファイル（PDF 等）に出力することができます。



### 2. 特徴／DLL 版との違い

- AnyCPU 対応により 32bit/64bit どちらのアプリケーションからも利用可能
- DLL 版の制約（システムフォルダからの実行など）が緩和され、配置の自由度が高い
- フォームの出力先としてファイル（PDF など）指定が可能（ただし制約あり）
- ユーティリティ機能によりプリンタやフォームの選択、ログ確認が可能
- DLL 版で利用していた Modes / Reserved が、.NET 版では InteractiveMode / ProductTypes に整理されている

	DLL 版	.NET 版
プラットフォーム	32 ビットのみ	AnyCPU
配置	システムフォルダのみ	どのフォルダでも OK
出力先	プリンタのみ	プリンタ／ファイル(PDF)
API	DLL エクスポート関数	SmartForm.NET クラスライブラリ (外部アプリから直接呼び出し可能)

### 3. 対象製品・動作環境

対象製品：

- 伝助 for Windows Ver.5.1.7 以降
- 送助 for Windows Ver.5.1.15K 以降

動作環境：

- Windows 10 (22H2 以降) / Windows 11 (21H2 以降)
- Windows Server 2016 / 2019 / 2022
- .NET Framework 4.6 以降

### 4. 提供物

契約締結後、以下のファイル群が提供されます：

- Hexard.SmartForm.dll (ライブラリ本体)
- SmartForm\_Reference.txt (API 仕様書)
- SmartForm\_CLI.txt (コマンドライン仕様)
- SmartForm.Utility.txt (ユーティリティ仕様)
- SmartForm\_Guide.txt (DLL→.NET 移行ガイド)
- SmartForm.txt (全体概要)
- Demo プログラム (ソースコード)

詳細 API 仕様およびサンプルコードは契約締結後に提供します。

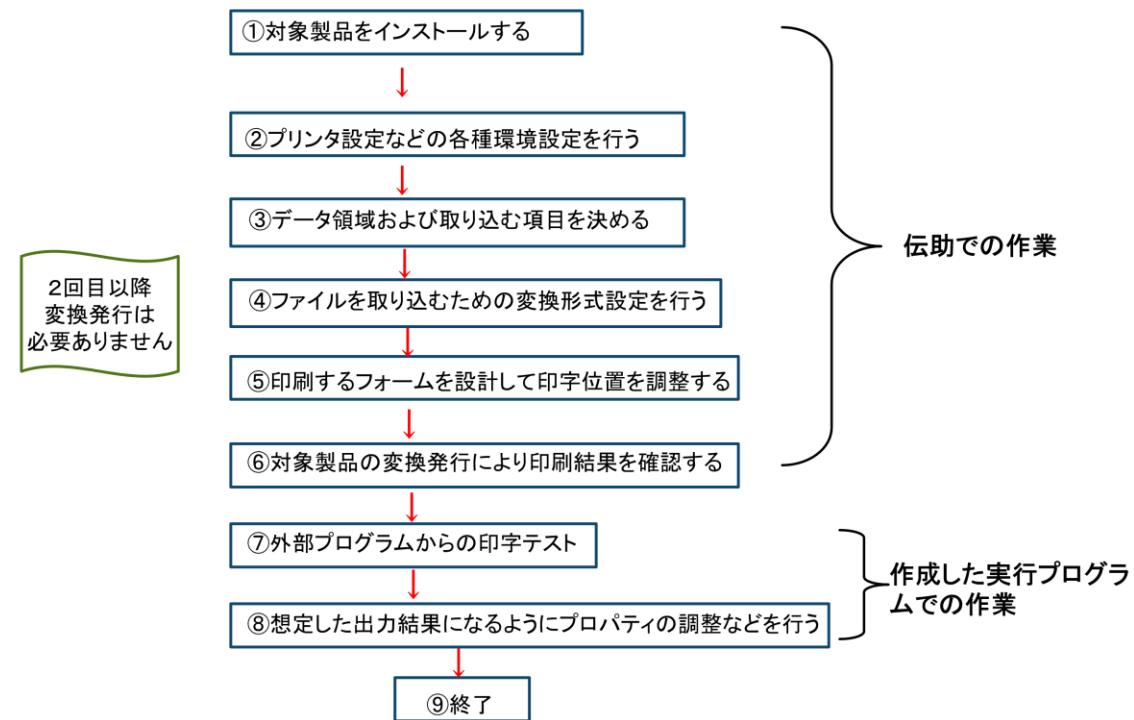
※本資料は契約前の概要説明資料であり、内容は予告なく変更される場合があります。

### 5. 導入手順

- 1) Hexard.SmartForm.dll を参照設定に追加
- 2) SmartForm クラスのインスタンスを生成  
例: new SmartForm(ProductTypes.Slip, 0)
- 3) Active プロパティで連携可否を確認
- 4) 初回のみ ShowUtility にて基本設定を確認 (フォーム・プリンタ・出力設定等)

## 6. 設定および実行の手順

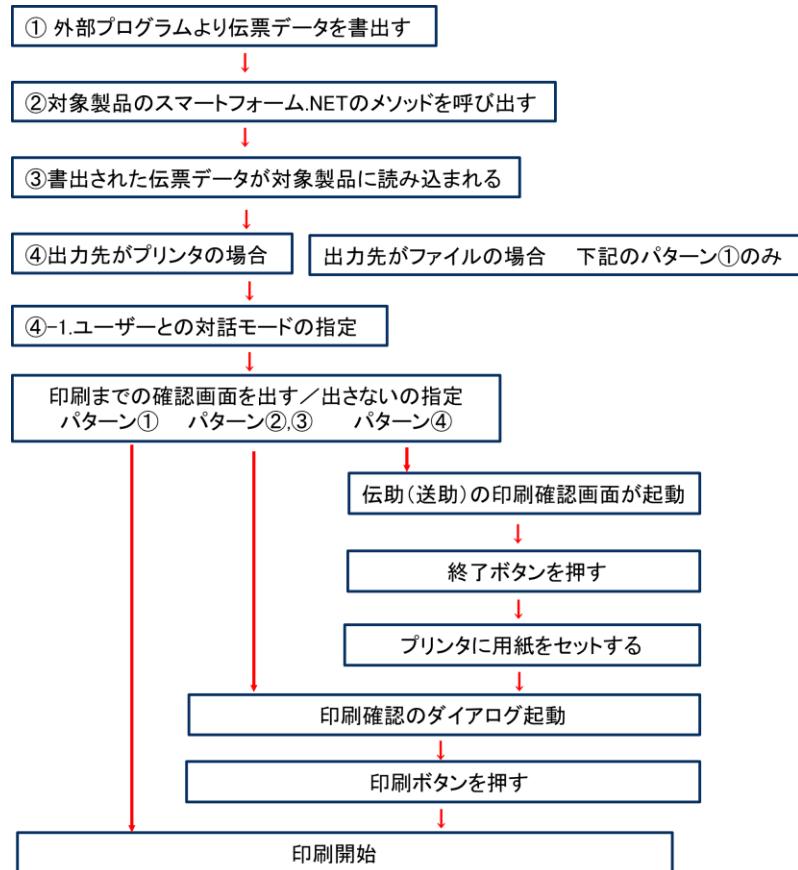
設定の手順 :



△ 注意事項

NET版は「変換発行」で指定したファイル形式やファイル名、参照マスターなどの設定に依存しませんので、プロパティやメソッドで改めて指定してください。

## 実行の手順 :



## ■画面 1

InteractiveMode=InteractiveModes.Dialog  
『印刷確認のダイアログ』

一括発行 - [フォーム1]

項目名	内容
伝票No	
得意先名1	株式会社ヘキサード
売上日付	2017年03月08日
請求先名	
売上合計	200,000
税額合計	16,000
総合計	216,000

印刷フォーム:

印刷開始位置:  列 (1-1)  行 (1-1)

※ Minimum / SimpleDialog モードではこの画面は表示されません。

## InteractiveMode=InteractiveModes.Minimum

この定義にした場合、アプリケーション側で作成するテキストファイルに複数フォームコードがあつてもフォームが切り替えのメッセージは表示しません。

1回印刷単位で1種類のフォームコードを書出すような内容にしてください。

### ■画面 2

## InteractiveMode=InteractiveModes.FormScreen 『伝票フォーム画面』

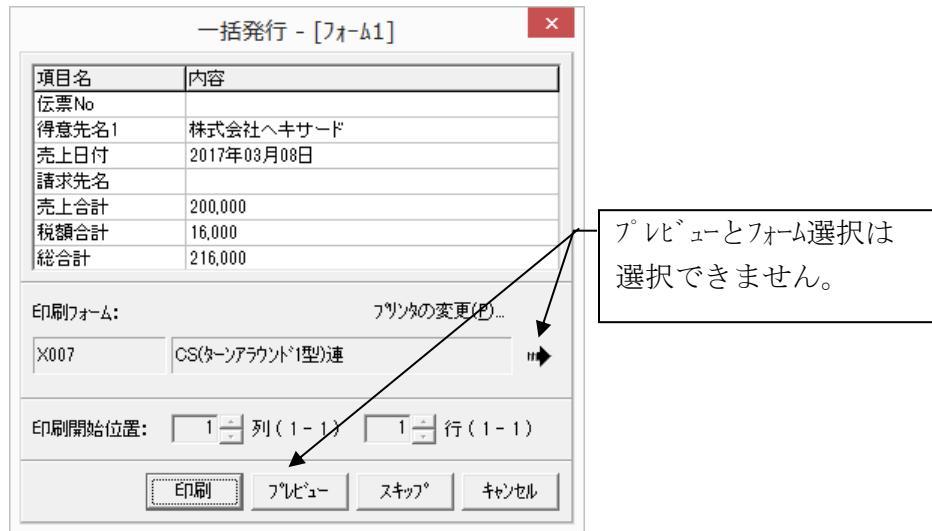
The screenshot shows a Windows application window titled "追加入力発行(売上伝票) - [X007:CS(ターンアラウンド1型)連]". The main area is a "Delivery Receipt Form" (仕入伝票) with a grid for entering items. The grid columns include: 品名 (Item Name), 規格 (Specification), 商品コード (Product Code), 色 (Color), サイズ (Size), 単位 (Unit), 数量 (Quantity), 行 (Line), 打印用 (Printable), 印合 (Index), 原単価 (Original Unit Price), 原価金額 (Original Cost Price), 発単価 (Issuing Unit Price), and 取引先 (Customer). At the bottom of the grid, there are buttons for 合計 (Total), 打正後原価金額合計 (Total Original Cost Price after Adjustment), and 打正後発単価合計 (Total Issuing Unit Price after Adjustment). The left sidebar contains buttons for 新規 (New), 検索 (Search), 判別 (Identification), 印刷 (Print), 保存 (Save), and 参照 (Reference). The bottom navigation bar includes F1 through F12 keys and buttons for フォーム1(一括) (Form 1 (Batch)), フォームX並行 (Form X Parallel), 売上伝票 (Sales Receipt), and 売上日付 (Sales Date).

## 『条件指定画面』

The screenshot shows a "Batch Search Conditions" window titled "一括発行". It contains a list of search criteria with input fields: 売上日付 (Sales Date), 請求日付 (Billing Date), 受注日 (Order Date), 納品日 (Delivery Date), 伝票No (Receipt No.), 受注No (Order No.), 見積No (Quotation No.), 得意先C0 (Customer C0), 得意先名1 (Customer Name 1), 請求先C0 (Billing Customer C0), 描写 (Description), フォームC01 (Form C01), and フォーム1 (Form 1). There is also a checkbox for "発行済みの伝票も印刷する" (Print also issued receipts). Below the fields is a note: "伝票No.をかくまたはスペースで区切って複数指定できます。指定すると項目の条件より優先されます。(項目の条件との併用はできません)" (You can enter multiple receipt numbers separated by commas or spaces.指定すると項目の条件より優先されます。(項目の条件との併用はできません))". At the bottom, there are buttons for 高度な条件 (Advanced Conditions), 参照 (Reference), ケア (Care), 枚数確認 (Check Number of Pages), 実行 (Execute), キャンセル (Cancel), and ヘルプ (Help).

## ■画面 3

InteractiveMode=InteractiveModes.SimpleDialog  
『印刷確認のダイアログ』



## 7. API 概要

SmartForm クラスの主要なプロパティとメソッドは以下の通りです：

- プロパティ : Active, FileType, Forms, Printers, OutputDevice, InteractiveMode, UserMode など
- メソッド : Publish, ShowUtility

※プロパティ・メソッドの詳細仕様は契約後に提供します。

## 8. ユーティリティ

SmartForm.ShowUtility() を呼び出すことで、以下の設定確認・変更が可能です：

- データパス、プリンタ設定、発行モード、出力デバイス設定
- ログの確認

特に RDS 環境では UserMode の設定 (Single/Multiple) が重要です。

※ユーティリティの各設定内容は印刷動作に直接影響します。

## 9. エラーとログ

エラーは以下に分類されます：

- クラス内エラー：Publish 実行時の例外など
- ブリッジ内エラー：対象製品連携時の不具合（詳細はログ参照）

ログはユーティリティ画面から参照可能です。

## 10. 配置・配布上の注意

- DLL 版と異なり、.NET 版は呼び出しアプリと同じフォルダに配置すれば利用可能
- 対象製品（伝助／送助）がインストールされていることが前提

## 11. 契約・提供条件

本仕様書は機密保持契約および使用許諾契約の締結後に提供されます。

サポートはユーザーから直接ではなく、必ず開発会社様経由でお問い合わせください。